



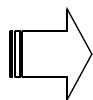
前号より国際理解学習の続きです。他の国の文化を理解することは、どちらがよいとか悪いとかということではなく、【ちがいをちがいとして認め合うこと】であります。同じクラスの友だち、他の学校の中学生、他国の14歳・・・それぞれのさまざまなちがいは、そのまま【ちがいとして認め合うこと】から始まります。今回の取り組みは、発表してくれた二人はもちろんのこと、みなさんにとってもたいへん貴重な経験になったことと思います。将来、世界に羽ばたくみなさんにとって、人として大切なことを学ぶことができたと思います。



### 中国ってどんな国？

46期生国際理解教育

#### 中国について



中国の学校の様子

#### 提? (クイズ)

この中で本場の中華料理ではないものを選んでください。  
(答えは一つではない)



食べ物に関するクイズ

#### 【生徒の感想】



- ・日本から遠い国（ブラジル）や近い国（中国）でもいろいろな文化はちがっていて、その文化を学べたのはとてもよかったし、ゲームも楽しかったです。ありがとうございました。お疲れさま。
- ・ブラジルと中国は文化が大きくちがうけれど、それぞれいいところがあって楽しいなと思いました。ぼくもちがう国の人たちとコミュニケーションがとれるようにがんばりたいと思います。楽しい体験をありがとうございました。
- ・わたしは「絶対日本から出ない」「海外には行かない」と思っていたのですが、実際に暮らしていた同級生の話を聞いて興味がわいてきました。海外に行ってみたいと思うようになりました。
- ・国際理解としてブラジルや中国の文化を知ることができました。初めて知ることが多く、「すごいな!」「いいな!」と思ったことがたくさんありました。他の国のことももっと知りたいと思いました。
- ・ブラジルは夜が危ないから学校は早く終わることがすごく驚きでした。中国もことばの発音や自己紹介に使えることばを教えてもらってよかったです。長い時間をかけて準備をしてくれて、すごくわかりやすく楽しい授業をありがとうございました。